

美しい多摩川フォーラム 令和元年度・第1回運営委員会議事録

日 時 : 令和元年11月12日(火) 15:00～16:30
会 場 : 立川グランドホテル(JR 立川駅北口)3階サンマルコ
出席者 : 会 長 細野 助博 中央大学名誉教授
副会長 小倉 紀雄 東京農工大学名誉教授
平岡 治房 青梅信用金庫理事長
委 員 輪千 徳也 青梅市都市整備部計画保全課計画調整係係長
濱中 一之 日の出町産業観光課商工観光係課長補佐
宮田 満裕 羽村市産業環境部産業振興課長
池田 優 狛江市企画財政部政策室企画調整担当主任
小澤 順一郎 青梅商工会議所会頭
金澤 克美 東急(株)社長室サステナビリティ推進部企画担当課長
永尾 昌文 (公財)東京市町村自治調査会総務部長兼調査部長
函師 真吾 (公財)東急財団事務局環境部長
渡邊 勇 青梅・多摩川水辺のフォーラム顧問
馬場 真人 (株)近畿日本ツーリスト首都圏立川支店
梶田 俊樹 富国生命保険(相)立川支社市場開発グループ課長
松本 朗 (特非)緑の大地会副理事長
滝井 寛 明星大学事務局次長兼地域交流センター長
アドバイザー 奥山 文弥 東京海洋大学客員教授

(敬称略、以下同様)

配布資料 : (第1号議案)多摩川子ども環境シンポジウム「みんなの発表誌」発行について(案)
(第2号議案)「多摩の物語」(民話・昔話)の掘り起し調査と小冊子発行について(案)
(資料 1)第10回“美しき桜心の物語”の語り会(3/30)
(資料 2)桜ウォーキングと桜守学校(4/5)
(資料 3)多摩川流域自治体交流イベントラリーに協力(5/4～11/3)
(資料 4)多摩川“水”大学講座(5/17、6/21、7/19、9/20、10/18)
(資料 5)東急百貨店「ココエコチャリティーキャンペーン」開始(5/23～8/31)
(資料 6)令和元年度総会(5/25)
(資料 7)調布市環境フェア出展(6/1)
(資料 8)第12回多摩川一斉水質調査(6/2)
(資料 9)多摩川っ子(第12号)発行(7/10)
(資料10)狛江古代カップ第29回多摩川いかだレースに参加(7/21)
(資料11)第11回炭焼き体験と水辺の交流会(8/21)
(資料12)第6回“多摩川酒蔵街道”のキャンペーン開始(9/1～12/31)
(資料13)第12回多摩川子ども環境シンポジウム募集開始(9/2～11/15)

(資料14)「多摩の物語」の語り会(9/6)

(資料15) 東急百貨店より第10回「ココエコチャリティー」の寄付金贈呈(10/8)

(資料16) 第12回多摩川一斉水質調査レポート発行(11/1)

(資料17) 台風19号による多摩川流域の甚大な被害により中止した事業

1. 開会 (運営委員会成立の確認、資料確認)

(事務局)

定刻になりましたので、美しい多摩川フォーラム令和元年度・第1回運営委員会を始めさせていただきます。本日の運営委員会は、出席委員、代理出席委員、書面議決書提出委員合せて53名で運営委員総数の過半数を超えておりますので、フォーラム規約第13条3項の規程により、本委員会が成立しておりますことをご報告いたします。

それでは「多摩川の歌」の普及策の一環として、皆様にもぜひ親しんでいただくため、本日は、小野リサさんによるボサノヴァ・特別バージョンでお聞き下さい。

次に、本日初めて運営委員会にご出席される方をご紹介します。

(羽村市 産業環境部 産業振興課長 宮田 満裕 様)

宮田と申します。私はこの部署に在籍して2年になりますが、その前は環境保全課に3年おりました。トータルで5年間、多摩川フォーラムさんと関係のある部署に在籍しております。会議には初めて参加しますが、これからも引き続き多摩川の保全活動に努めてまいりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

(日の出町 産業観光課 商工観光係 課長補佐 濱中 一之 様)

濱中と申します。4月に現在の部署に配属となりました。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

(東急(株) 社長室 サステナビリティ推進部 企画担当課長 金澤 克美 様)

金澤と申します。部長の代理で出席いたしました。ひとつお知らせがございます。社名が東京急行電鉄(株)から東急(株)に変更になりました。今後ともよろしくお願ひいたします。

((特非)緑の大地会 副理事長 松本 朗 様)

松本と申します。普段は理事長の浅見が出席しておりますが、今日は私が代理で出席させていただきます。どうぞよろしくお願ひいたします。

(事務局)

有り難うございました。会議の進行に移ります。その前に資料の確認ですが・・・(割愛)。

それでは、細野会長に開会のご挨拶をよろしくお願ひします。

2. 細野会長挨拶

(細野会長)

皆さんこんにちは。令和元年度・第1回運営委員会です。ご多用の中お集まりいただき、有り難うございます。後で議論になると思いますが、台風19号で多摩川が氾濫し、まさしく「暴れ川」となりましたが、皆さまはお変わりありませんでしたでしょうか。普段は美しい多摩川を見ておりますが、自然が猛威を振るうこともあるのだと、私たちは心にしなければなりません。先日、令和天皇皇后の祝賀パレードがあり、名実ともに令和が始まりましたので、私達も心を新たに活動を進めたいと思います。それでは、事務局に進行をお願いします。

3. 経過報告

(事務局)

はい、令和元年度上期の活動につきましては、お手元の資料の表紙に時系列でお示しております。それでは、その中から特に6つの活動につきましてビデオにまとめておりますので、入口のスクリーンをご覧ください。

— ビデオ放映 —

経過報告を続けます。

(2) 多摩川流域自治体交流イベントラリーに協力(5/4～11/3)【資料3】

- ・ 【資料3】をご覧ください。これがイベントラリーの用紙で、中面がスタンプ台紙になっております。およそ半年に及ぶ多摩川12自治体交流イベントラリーが終了したところです。本件につきまして、狛江市企画財政部政策室企画調整担当、主任の池田様に一言お願いします。

(狛江市 企画財政部 政策室 企画調整担当 主任 池田 優 様)

今年度についても、多摩川フォーラムさんご協力のもと、多摩川流域自治体交流イベントラリーを開催いたしました。ラストのイベントは、奥多摩町が11/2、11/3に開催する「奥多摩ふれあいまつり」の予定でしたが、台風の影響でイベントが中止になりましたので、大田区が10/19、10/20に開催した「おおた商い観光展2019」のイベントをもちまして、イベントラリーは終了になりました。今回も多くの方にご応募いただきましたので、これから抽選をして、当選者には各自治体の物産を送る予定です。来年度もこのイベントラリーを開催する予定ですが、特に狛江市が主催する多摩川いかだレースについては、来年で30回の節目を迎えますので、例年以上に力を入れていきたいと考えております。ぜひご協力をお願いいたします。

(3) 多摩川“水”大学講座(5/17、6/21、7/19、9/20、10/18)【資料4】

- ・ 【資料4】をご覧ください。8年目となる今年度は、引き続き小倉副会長に講師をお

願いし、府中市様との共催のもと、開催しました。今年度の修了生10名を含め、修了生は延べ98人となり、各地で水環境のリーダーになることが期待されます。

(8) 第12回多摩川一斉水質調査(6/2)【資料8】

- ・【資料8】をご覧ください。水質調査の実施に際し、渡邊運営委員、山崎運営委員、奥山アドバイザーには、今年も全面的にご協力をいただきました。どうも有り難うございました。それでは、渡邊環境清流部会長に資料の説明をよろしく申し上げます。

(渡邊環境清流部会長)

今年で第12回となりました。昨年まで採水地点は75カ所で、参加者は約100名でした。今年は採水地点が52カ所で、延べ1,200の方が水質調査のために多摩川に足を運んだこととなります。

今年度の水質調査結果をグラフ化しましたので、簡単に説明します。まず、多摩川本川のCODですが、上流から34番(JR八高線橋下)まではきれいであると言えます。35番(多摩大橋下)になると、多摩川上流水再生センターの下流に位置し、下水処理水が入ってくるので、多少有機物が入ってくるという事がわかります。

次に、多摩川本川の電気伝導率です。水のプラスイオンとマイナスイオンの総量を表すものですが、こちらも35番で下水処理水が入ってくると、電気伝導率が40～50になります。電気伝導率が50を超えると海水が入ってくることがわかります。参考までに国交省のデータも添付しましたが、当フォーラムで調べたデータと相違ないことがわかります。

次の硝酸態窒素ですが、やはり35番以降は値が高くなっています。下水処理水が入ると窒素やリンが入ってくるということです。

次の亜硝酸態窒素は、今年度はじめて測定しました。亜硝酸態窒素は、色々な有機物が酸化して硝酸態窒素になる前のものです。ですから、水の中の酸素が少ないと亜硝酸が出てくるという事だと思います。やはり35番になると値が高くなります。亜硝酸は魚に対して大変有害ですので、できれば無いほうが良いです。

次のリン酸態リンも、下流に行くと値が高くなっています。次のページは秋川や大丹波川等の支川のデータですが、すべてきれいです。毎年同じような傾向にあります。多摩川本川の上流はきれいで、下流になると下水処理水が入って汚くなっています。今後、多摩川下流については亜硝酸対窒素やアンモニウムのデータを監視する必要があると思います。

台風19号が去ってから1ヵ月近く経ちますが、現在も多摩川本川上流は白く濁っています。原因は、小河内ダムに溜まった粘土が大雨で攪拌され、流れたためです。水道局に確認したところ、「まだ当分続く」とのことでした。白濁が半年続くと、太陽光が石の

表面まで届かないので、珪藻や緑藻ができなくなり、水生昆虫等に影響が出てくるかもしれません。自然現象ですからやむを得ませんが。以上です。

(16) 第6回“多摩川酒蔵街道”のキャンペーン開始(9/1～12/31)【資料12】

- ・ 【資料12】をご覧ください。今回はスタンプラリーを導入しました。チラシ裏面はスタンプラリー台帳を兼ねており、9月よりJR東日本八王子支社様管轄の66もの駅にチラシを置いていただきました。皆さんからのご応募をお待ちしております。また、大多摩観光連盟様が発行しているPR誌「大多摩四季報」にも掲載していただきました。今年も、はとバスさんが11月から12月に7本のツアーを組んでいます。なお、スタンプラリーの導入に際し、小澤運営委員には各蔵との交渉や取り纏めなど全面的にご協力いただきました。どうも有り難うございます。それでは小澤運営委員に一言お願いします。

(小澤運営委員)

西多摩には酒蔵が5つあります。東京の酒処ではありますが、その認知をより深める目的で「多摩川酒蔵街道」と銘打って活動をしていただいています。今回は、先ほどお話があった通り、スタンプラリーを導入しました。5蔵を巡ってスタンプを押して応募すると、抽選で賞品が当たるという企画です。ただ「お酒を飲む」という以上の、地域的な資産という点からみても、非常に新しい取り組みではないかと思えます。私のほうで他の4蔵の意見を聞きましたが、みんなこの企画を大変喜んでおります。それぞれ自分のことはやりますが、みんなで一緒にということはなかなかやりにくいところがありますので、大変感謝しております。スタンプラリーは今年いっぱい開催しておりますので、ぜひ皆さんもスタンプを押して応募していただければと思います。

(17) 第12回多摩川子ども環境シンポジウム募集開始(9/2～11/15)【資料13】

- ・ 【資料13】をご覧ください。9月より本格的に募集を開始しております。過去に発表された方はもちろんのこと、水辺の楽校、また、行政や教育委員会を通じて多摩川流域の小学校にアプローチしたり、山崎運営委員が出前事業に行かれた小学校に声をかけておりますが、苦戦しています。現在のところ、3グループの発表が確定、5グループが発表を検討しております。今回は第1部で子どもたちの発表、第2部では、このたびの「多摩川氾濫」で、流域の住民の関心が高まっている「防災」について、「水辺の安全をどう考えていくか」というテーマで、山崎運営委員に講演していただき、質疑応答の時間を設けて意見交換できるような内容にしたいと考えております。皆さんもぜひ会場に足をお運びいただけたら幸いです。

(19) 東急百貨店より第10回「ココエコチャリティー」の寄付金贈呈(10/8)【資料15】

- ・ 【資料15】をご覧ください。今年も東急百貨店のココエコチャリティー・イベントによる売上金の一部97,411円が、当フォーラムに寄付金として贈呈されました。因みに贈呈式には、細野会長に出席していただきました。なお、いただいた寄付金は、「多摩川一斉水質調査」などの多摩川環境保全活動に役立てていきます。

～以下、当面の予定～

※台風19号による多摩川流域の甚大な被害により中止した事業【資料17】

- ・ 【資料17】をご覧ください。台風19号の影響により、各行政と協議のうえ、11月に予定していた3つの事業を開催中止とし、中止のお知らせを10月18日付でホームページに掲載、関係各団体にも連絡させていただきました。

次に、前方のスクリーンをご覧ください。「美しい多摩川フォーラム・御岳の森」の被害状況について、ご報告させていただきます。

10月12日、台風19号により多摩川が増水し、炭焼き施設の大部分が流されました。これは、台風が来る前の「炭焼き窯」と「ログハウス」になります。美しい多摩川フォーラム「御岳の森」の炭焼き窯、ログハウスは完全に流されてしまいました。大変ショックでした。同時に水害、自然の怖さを思い知らされました。なお、周辺地域も、境界として設置しているフェンスが曲がってしまったり、がけ崩れが発生、御岳小橋まで流されるなど、回復の目途が立っておりません。事務局からの経過報告は以上です。細野会長、よろしくお願ひします。

(細野会長)

有り難うございました。事務局からの経過報告で、ご質問などございますか。

(富国生命保険(相)立川支社 市場開発グループ課長 梶田 俊樹 様)

隣接する釣り堀のほうも被害はあったのでしょうか。

(事務局)

奥多摩フィッシングセンターも壊滅的な状況です。日々復旧に向けて取り組んでいらっしやいますが、しばらくは再開が難しそうです。川の水が増水した際、大量の土砂も堆積したため、それを除去したりならしたりしている状況です。魚を育てている釣り堀も砂でやられてしまったそうです。当初は水を引いている水源もやられてしまったそうですが、そちらはなんとか復旧したようです。

(細野会長)

有り難うございました。他にご質問がなければ、本日の協議事項に入ります。第1号議案について、事務局から説明してください。

4. 協議

(1) 第1号議案:多摩川子ども環境シンポジウム「みんなの発表誌」発行について(案)

(事務局)

【第1号議案】をご覧ください。読み上げます。

(背景)

当フォーラムでは、平成28年度に設立10周年記念事業を計画するため、既存事業の見直しをおこない、多摩川子ども環境シンポジウムの発表内容を纏めた「みんなの発表誌」を中止することと致しました。しかしながら、これ以降、多摩川子ども環境シンポジウムの発表団体数は減少傾向にあり、昨年度は過去最少の6団体となりました。これを受け、多摩川子ども環境シンポジウム実行委員会を開催し、多摩川子ども環境シンポジウム憲章を新たに策定、募集要項見直しを実施しました。また、『多摩川子ども環境シンポジウムを多摩川流域の小中学校にPRするためには、「みんなの発表誌」は必要である。今後は毎年3月に「みんなの発表誌」を発行(復活)し、従来は7月に発行していた「多摩川っ子」を合併して内容を充実させたらどうか。「多摩川っ子」と「みんなの発表誌」を単独で2種類発行するよりも、まとめて発行した方が費用も軽減できる』との提案がありました。

その後、運営委員会において実行委員会の内容を説明し、次回運営委員会で議案として上程することを報告しました。その際、準備の関係もあることから前以って「みんなの発表誌」発行(復活)を前提に事務局で準備を進めることについて賛同が得られ、9月より「多摩川子ども環境シンポジウム」の募集を開始しております。

(具体的内容)

- ・多摩川子ども環境シンポジウム「みんなの発表誌」を今年度より発行(復活)
(但し、従来は2ページにまとめていた一つの発表内容を1ページとし、簡素化)
- ・毎年7月に発行している「多摩川っ子」は廃止とし、「みんなの発表誌」に吸収

(費用)

- ・みんなの発表誌(「多摩川っ子」合併版)
106万円(24ページ、7,000冊。企画・編集・取材・撮影含む)
※それぞれを単独で発行していた予算の2/3程度に縮小

以上になります。細野会長、よろしく申し上げます。

(細野会長)

それでは皆さん、ご質問やご意見がございましたらお願いします。

(奥山アドバイザー)

「みんなの発表誌」が残って「多摩川っ子」が吸収されるのであれば、ブランディングの観点から、「多摩川っ子」というタイトルで「みんなの発表誌」を作ったほうが、発表していない人たちに情報を発信する際、インパクトがあって良いのではないのでしょうか。

(事務局)

今のご意見も一案だと思います。現在、事務局で考えているのは、左から読むと「みんなの発表誌」になり、右から読むと「多摩川っ子」になるような、タイトルを裏と表で両方残せるスタイルを検討しております。

(細野会長)

奥山アドバイザー、今の提案に対していかがですか。

(奥山アドバイザー)

後はお任せします。

(細野会長)

事務局、後はお任せしますから、見栄えが良いように進めてください。他にご質問等ございますか。ないようでしたら、ご承認いただけますでしょうか・・・(拍手)。有り難うございました。次に、第2号議案について、事務局から説明をお願いします。

(2) 第2号議案:「多摩の物語」(民話・昔話)の掘り起し調査と小冊子発行について(案)

(事務局)

【第2号議案】をご覧ください。読み上げます。

(目的)

当フォーラムでは、「多摩の物語」の語り会を教育文化軸の中核事業に位置付け、多摩地域に古くから伝わる民話や昔話を掘り起こすため実地調査をおこない、「多摩の物語」として“語り”の実演を実践しています。これまでに2冊の小冊子を発行し、毎年、多摩川流域で 平野副会長の全面的な指導のもと「多摩の物語」の語り会を実施しておりますが、さらなる掘り起し調査により、新たな物語を発掘して3冊目となる小冊子を作成し、“語り”の題材を増やすことにより、地域に暮らす人々に郷土愛を育むことを目的とします。

(調査委託先)

日本の語り芸術を高める会(会長:平野啓子)

(計画)

令和2年度 多摩地域に古くから伝わる民話や昔話を掘り起こす実地調査を実施

令和3年度 「多摩の物語」小冊子作成(3冊目)

※調査の実施場所は、多摩川流域より選定した数か所程度とします。

※「多摩の物語」の語り会の発表に合わせて選定した既存の物語の再話(リライト)も含む。(世田谷・等々力に伝わる河童伝説、府中出身のお代官様川崎平右衛門物語、等)

(費用)

令和2年度 50万円 委託調査費(交通費、会場費、資料整理・取りまとめ会合等)

令和3年度 50万円 小冊子作成費等

以上になります。細野会長、よろしく願いいたします。

(細野会長)

それでは皆さん、ご質問やご意見がございましたらお願いします。もしないようでしたら、如何でしょうか、ご承認頂けますようでしたら、拍手をもってお願い致します(拍手)。有り難うございました。それでは、賛成多数で第2号議案は可決承認とさせていただきます。以上で、全ての議案が承認されました。どうも有り難うございました。

それでは、意見交換に移ります。今後の事業計画について、事務局より説明をお願いします。

5. 意見交換

(1) 今後の事業計画について

(事務局)

先ほどご報告させていただきましたが、数十年に一度と言われている多摩川の氾濫について、専門家の間では、地球温暖化の影響により、これからは、たびたび起こり得ることが警告されており、場合によっては多摩川フォーラムの活動そのものを見直さなければならないと考えさせられる、大きなインパクトがあったと考えております。多摩川フォーラムでも、「炭焼き小屋」は増水によって完全に流されました。喫緊の課題として「炭焼き体験と水辺の交流会」をどう継続していくかという問題があります。教育文化軸の看板事業であるこのイベントは、何としても実施いたしたく、「御岳の森」の今後について、慎重

に検討を進め、来年1月の運営委員会で具体的な提案ができればと存じます。また、11月の事業活動はすべて開催中止を余儀なくされました。次回は12月の「多摩川子ども環境シンポジウム」を予定しております。なお、来年度の事業計画につきましては、1月22日の運営委員会において、事業計画の事務方素案を提出させていただく予定ですが、先ほどご承認いただいた「多摩の物語」(民話・昔話)の掘り起し調査が新規事業になります。以上になります。細野会長、よろしく申し上げます。

(細野会長)

事務局からの説明に対し、何かご質問やご意見はございませんか。せっかくの機会ですので、今後の事業計画について、時計回りで皆さんのご意見を一言ずついただきたいと思います。宮田様からどうぞ。

(羽村市 産業環境部 産業振興課長 宮田 満裕 様)

今回の台風については、上流域から下流域まで大変な被害があり、羽村市内もそうでした。少しでも早く元の状態に戻れるように、皆さんと一緒に取り組んでまいりたいと思います。事務局から説明いただいた案件については、次回の運営委員会でお示しただけとのことですので、進めていただければと思います。

(青梅市 都市整備部 計画保全課 計画調整係 係長 輪千 徳也 様)

今回の台風は、河川はもちろんのこと、道路にも大きな被害が出ております。炭焼き窯は確か補修したばかりでの被害だと思いましたが、ぜひ再建という形で事業計画に盛り込んでいただければと思います。

(青梅商工会議所 会頭 小澤 順一郎 様)

我々は、上流から下流まで、様々な違いはありますが、多摩川流域で生活しているという意味で、協同の意識を持っています。そういうことを、なるべく多くの地域の皆さんに、区や、市、町など行政の枠を超えてお知らせしたいと思います。そのために色々な活動をしていると思うのですが、我々の活動のアイデア等を、もっと知っていただく機会はないかなと考えております。そういう機会を作っていただけると大変有り難いと思います。

(青梅・多摩川水辺のフォーラム 顧問 渡邊 勇 様)

多摩川子ども環境シンポジウムについて、今年で12回目となりますが、今後も継続できるようにアンケートを取って、何に問題があつてどこを直すべきなのか意見をまとめて、今後のシンポジウムの改善に繋がたら良いのではないのでしょうか。また、「みんなの発表誌」のPDFデータが、誰でもホームページ上で閲覧できるようにしてほしいと思います。

(事務局)

「みんなの発表誌」のPDFデータは、分かりにくい場所にあるかもしれませんが、ホームページ上で閲覧できるようになっています。より閲覧しやすいよう工夫したいと思います。

(明星大学 事務局次長兼地域交流センター長 滝井 寛 様)

今回の台風について、明星大学の学生たちは盛んにボランティア活動をしています。例えば教育学部や心理学部の学生は、現地で被災された方々の心のケアに関して活動しています。そういった情報があれば、学生たちに働きかけますし、大学間の交流もしています。細野会長がいらっしゃった中央大学でも、被災地に対するボランティアを盛んにやっています。そういった横の連携を活用しボランティアで貢献することは、学生の勉強にもなりますので、情報共有をよろしくお願いします。

((株)近畿日本ツーリスト首都圏立川支店 馬場 真人 様)

11月に、仲間と一緒に美しい多摩川クリーンキャンペーンの多摩市会場に参加する予定でしたが、中止になって残念です。また、多摩川カヌー駅伝大会のウォークラリーにも参加する予定でしたが、こちらも中止になって残念です。去年もクイズウォークラリーに参加して15キロほど歩いたのですが、天気も良くて非常に楽しかったです。色々な事情があるとは思いますが、小規模でも結構なので、美しい多摩川クリーンキャンペーンだけは、例えば2月、3月等に時期を改めてでもやっていただければ、少しでも貢献できるのかなと思います。それが無理であれば、来年11月のクリーンキャンペーンに参加したいと思います。

(事務局)

貴重なご意見、有り難うございます。クリーンキャンペーンの御岳会場は、ゴミがとて少なくなったので、今年度から中止していたのですが、今回の台風で相当な漂着物も出ていると思いますので、実施を視野に検討したいと思っております。しかし、青梅市に話を聞くと、遊歩道が寸断されていたり、増水の影響で汚水が流れていたりと等々、ボランティアをご遠慮いただいているそうです。事務局では総合的に考え、出来ることなら実施したいと考えております。

((特非)緑の大地会 副理事長 松本 朗 様)

今回の災害は非常に大きく、緑の大地会は山の手入れや倒木への対応で毎日忙しいです。多摩川流域は、上流から下流まで水を起因とした被災をしました。自治体を超えて、流域として災害を受けましたので、そこを上手にアピールと言いますか、きちんと皆で胸の中に納めて先に行けるようなイベントができれば良いと思いました。

(東京海洋大学客員 教授 奥山 文弥 様)

私は釣りや魚のことしか分からず、イベントにもなかなか参加できずにいますが、個人的には、多摩川の魅力を伝えるために Youtube を活用しています。今秋は、多摩川源流のイワナやヤマメなど、野生の魅力を投稿しています。台風が来たことによって、秋に産卵する魚たちはどうなっているのだろうと心配になります。先ほど奥多摩フィッシングセンターの被害の話がありましたが、秋川はもっとひどく、狛江の大水害を思い出させるような、家が川に落ちてしまったり、今にも落ちそうな状況になっています。秋川フィッシングセンターや養沢川も被害に遭いました。しかし人間が作ったものは壊されても、自然はそれほどやわではありません。水が引いて何か月、あるいは何年か経てば、野生の動物や魚たちも戻ってくると思います。台風19号で増水した次の日、羽村市の宮下公園に行ってみたら、グランドに一杯水溜まりが出来ていて、親子が魚採りしていました。採った魚を見せてもらったら、カジカやウグイ、ヤマメのほかに、ヤツメウナギもいました。川の自然体において、カジカとヤツメウナギがいるということは、水生昆虫も豊かで、それだけ自然が残っているということです。台風の災害は悲惨ですが、同時に、多摩川の自然環境の豊かさも証明されたので、今後の多摩川との付き合い方や見方も、良い方向に変わっていくのではないかと思いますし、自然の力を信じたいと思います。

(富国生命保険(相)立川支社 市場開発グループ課長 梶田 俊樹 様)

今後の事業計画について、抽象的な表現になりますが、多摩川に感謝して美しい多摩川を取り戻すような活動にシフトしていかざるを得ないのではないかと思います。

(東急(株) 社長室 サステナビリティ推進グループ 企画担当 課長 金澤 克美 様)

先ほど「多摩の物語」の新たな掘り起し調査を始めるとのことでしたが、完成したら多くの方が気軽に閲覧できる状態になると思いますので、期待しております。また、今回の多摩川の氾濫については、二子玉川から世田谷区、当社の施設も多く被害を受けました。有料老人ホームもかなり浸水しましたし、グループ内の東京都市大学世田谷キャンパスが浸水で1週間くらい授業ができない状況になりました。改めて、川に近いところで事業を営んでいるということを再認識しました。

((公財)東急財団 事務局長環境部長 図師 真吾 様)

多摩川子ども環境シンポジウムについて、次世代をどう取り込むか、次の地球環境を担う子どもたちに、どう主体的に関わってもらおうかという視点が非常に大切なのではないかと思います。我が財団では、継続して多摩川の環境に関わる小冊子を作成して流域の小学校に配布する活動を行っておりますが、今後も多摩川フォーラムとの連携を深めながら、何が出来るかを模索してまいりたいと思います。

(狛江市 企画財政部 政策室 企画調整担当 主任 池田 優 様)

今回の台風19号で、狛江市でも被害を受け、河川敷グラウンドは使用できなくなり、復旧の目途も立っていない状況にあります。今回、自然は怖いというイメージが付いてしまったかもしれませんが、貴重な資源であることは間違いありませんし、いかだレースも30回を迎えますので、今後とも、美しい多摩川フォーラム様と力を合わせて多摩川の素晴らしさをアピールできるような事業展開ができれば良いと思います。

(日の出町 産業観光課 商工観光係 課長補佐 濱中 一之 様)

私は日の出町に生まれ育ちました。近隣の市町村さんには失礼なのですが、日の出町は昔から災害に強いという定説がありました。しかし今回は、多摩川の支川である平井川の護岸が崩落し、孤立地区も出来てしまいました。改めて水の怖さを思い知ったところです。しかしながら、「多摩川夢の桜街道」79番・塩田堤の桜に被害はありませんでしたのでホッとしております。来春、この札所の近くで桜の語り会を開催していただけるとのことですので、今後ともよろしく願い申し上げます。

((公財)東京市町村自治調査会 総務部長兼調査部長 永尾 昌文 様)

東北の大震災の時もそうでしたが、海に面していれば津波の被害を受けるし、川に面していれば浸水の被害を受けます。これは、その地域に住んでいる人の必然だと思うのです。人間の営みは、そういうものにめげずにやり続けることだと思うので、美しい多摩川フォーラムの活動も、めげずにやり続けることが大切なのではないかと思っております。ぜひ頑張って続けていただきたいと思います。

(細野会長)

有り難うございました。皆さまから暖かいエールをいただきました。その他、事務局から何かありますか。

(2)その他

(事務局)

来年1月の運営委員会ですが、先月、日程変更のご連絡をさせていただきましたので、お間違えのないようにお願いします。1月22日(水)立川グランドホテルにおいて15時～16時30分を予定しております。

なお、12月19日の三部会合同部会では、東京都北多摩南部建設事務所様の講話を予定しています。また、今回は細野会長にご出席いただけるとのことですので、議事進行をお願いしております。終了後は、近くの居酒屋「玉河」で、年末恒例の懇親会を会費制で行いますので、皆さまもぜひご出席いただければ幸いです。

6. 総括・閉会

(細野会長)

最後に、副会長に一言ずつお願いします。

(小倉副会長)

多摩川流域各地における、台風被害の生々しい報告がありました。このような災害に関して、考えさせられる大きな課題をもらった気がいたします。今後、考えていきたいと思えます。

(平岡副会長)

本日は、令和元年度・第1回運営委員会にお集まりいただき、有り難うございました。先ほど事務局から、御岳小橋が流されたという話がありました。この御岳小橋は、過去に何回も水害で流されています。流されるたびに、高さを高くして設置しているにも関わらず、今回も流されてしまいました。「炭焼き体験と水辺の交流会」の今後についても話がありました。同じ場所に施設を再建するかどうかは検討しなければなりません、個人的には、「炭焼き体験と水辺の交流会」は看板事業なので、やっていきたいと思っております。今後、皆さんに検討していただく中で、やり方等も考えていただきたいと思えますし、あの施設を今後どのようにしていくのか、結論を焦らず、じっくり取り組んでいきたいと思えますので、皆さんのご協力をお願いいたします。また、流されてしまった施設跡には残骸が沢山残っていると思えますので、これをいかに片付けるかですが、業者に頼むとお金がかかりますので、ボランティアで片付けたいと思えます。また、出たゴミについては行政にお願いし、上手く処理できるように考えていただきたいと思えますので、ご協力をよろしく願いいたします。

(細野会長)

それでは、令和元年度・第1回運営委員会をお開きにします。有り難うございました。

以 上

(美しい多摩川フォーラム事務局)